

**老人医療の「薬剤一部負担金」の廃止について**

**7月から**老人医療(70才以上)の薬剤一部負担金が廃止されます。薬剤一部負担金とは、平成9年9月から導入された負担金で、内服薬・外用薬・頓服薬それぞれについて徴収されています。

たとえば、内服薬は1種類なら0円、2~3種類では30円、4~5種類では60円、6種類以上では100円(いずれも1日当たり)となっており、1か月分なら最高3000円(100円×30日)の負担金が定率負担(2割あるいは3割の保険の自己負担分、老人は0)に上乗せして請求されていたわけです。

来年4月からまた保険制度が変わる可能性があり、将来的にはどうなるかわかりませんが、とにかく負担が減ることは患者さんにとっては楽になるわけですから、一応評価したいと思います。

これに関連して問い合わせがありましたので、ご説明いたします。

ご質問) 今まで他の診療所にかかっていた、今度から菊池内科で同じ投薬を受けるようになりました。今まで調剤薬局での支払いがなかったのに、菊池内科の処方箋で投薬を受けると支払いがありました。なぜでしょうか?

お答え) おそらく今までかかっておられた診療所が、「老人慢性疾患外来総合診療料」をとっているためと思われます。これは通常の「**出来高**」(検査等をしただけ請求する方法)に対して、包括医療、いわゆる「**丸め**」といわれるもので、検査や投薬の有無に関わらず一定の点数(料金)となるものです。(もちろん患者さんに請求する額は1月に530円×4回までで同額です。)この制度を促進するために、厚生省はこの制度に関しては薬剤一部負担金を免除していました。

つまり、「丸め」で老人医療を行えば、料金は一定ですから、検査や投薬をしない方が儲かることになり検査漬けや薬漬けの医療が改善されるという目的です。(もちろん儲けのためではなく、患者さんの薬剤負担がないのでこちらを選択している診療所が多いと思います)

当院は、開業当初、どちらを選択したらいいかわからず、通常の「出来高」で診療していましたので、薬局での支払いで患者さんに負担をおかけしていました。

今回の負担金廃止により、老人医療の方は当院の処方箋でも調剤薬局での支払いがなくなりますので、よろしく願いいたします。

ご質問があれば、どんなことでもお気軽におたずね下さい。勉強不足で、即答はできないかもしれませんが、納得していただけるように勉強いたします。

**検査の器械のご紹介・大腸ファイバー**

今回は大腸の内視鏡検査の話です。器械の仕組みは前回ご紹介した「胃カメラ」と同じで電子内視鏡です。以前からの呼び方で「大腸ファイバー」と言っていますが、正式には「下部消化管内視鏡検査」といいます。

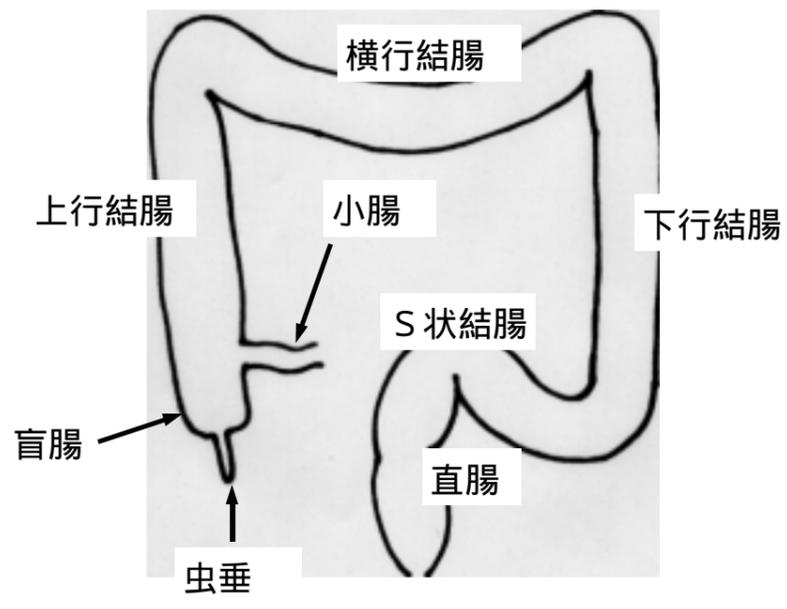
内視鏡の太さは約1.3cmで胃カメラの1.5倍くらいです。

さて、「胃カメラと違うのは入れるところだけじゃないか」、と思われそうですが、これが全く違います。胃カメラの場合は、喉の入り口さえ通れば食道 胃 十二指腸までほとんど(下手な研修医でも)入ります。本院では5分~(組織検査をしても)10分で検査が終了します。

ところが、大腸は直腸から一番奥の盲腸まで内視鏡を入れるわけですが、途中で曲がり角が数カ所あり、そのうえ腸の長さが一人一人違うため、奥まで入れるだけでかなり大変なのです。私も12年位前に大腸ファイバーをはじめた頃は、1時間たっても半分も入らないことがざらでした。なにしろ途中までしか入らなかったらそれより奥の検査ができないわけですから、かなりのストレスでした。今ではほぼ100%盲腸まで入るようになり、はやいときで5分、8割くらいは15分あれば盲腸まで入りますが、やはり30分以上かかる場合もあります。一番奥まで入ったら5~10分かけて内視鏡を抜きながら観察し、必要があれば組織検査を、場合によっては見つけたポリープをその場で切除したりもします。

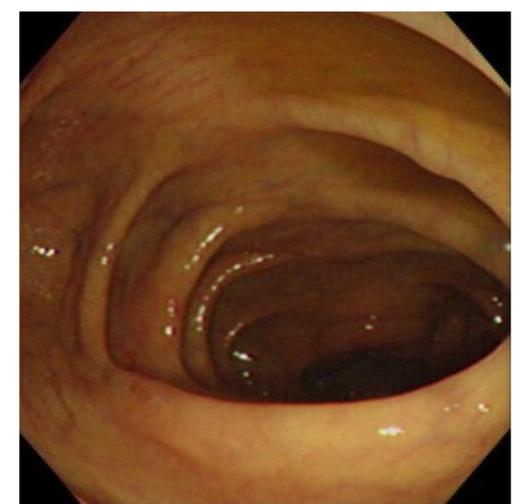
話が前後してしまいましたが、検査前の患者さん側の準備もだいぶ違います。胃カメラでは当日の朝食を抜いてもらうだけでですが、大腸ファイバーでは前日夜に下剤をのんでもらい、当日朝から洗腸液を1.8リットルのんでもらいます。これが結構大変なのですが、腸の中を空っぽにしないと検査ができないので、がんばっていただきます。

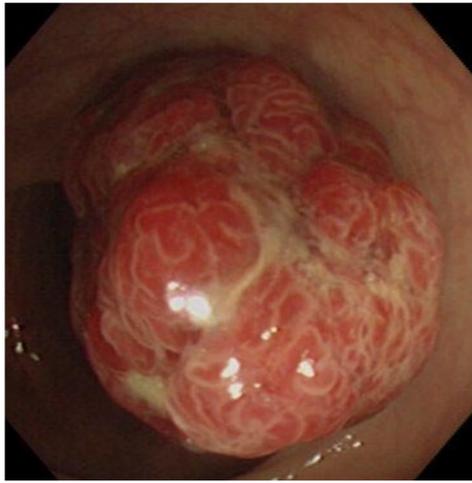
大変な検査ですが、最近大腸癌やポリープが増加していますので、定期的に検査を受けて下さい。(2枚目に続きます)



大腸の略図

正常の大腸の内部





本院での症例です。

(左上) S 状結腸のポリープです。排便時に出血があり、痔の出血と思い肛門科を受診し、本院に紹介された方です。直径約 3 センチありますが、出血 ( 2 年前にも出血をしたことがあったそうです ) 以外の症状は全くありません。組織検査の結果は悪性ではありませんでしたが、悪性化する可能性が高いので切除が必要です。



(左下) 下血で紹介された方です。S 状結腸を中心にびらん ( 浅い潰瘍 ) がひろがっています。1 枚目の正常の大腸と比べてみてください。粘膜が腫れているため腸の内部が狭くなり、色もかなり赤くなっています。( 発病して数日たっており、出血はほとんど止まっています )  
病名は「虚血性腸炎」といいます。高令の方で排便時に力んで起こることが多いです。ほとんどの場合、自然に治りますが、まれに腹膜炎を起こして手術が必要になることがあります。

### 検査の予約について

レントゲン、心電図、八尾市の検診等は予約は不要です。

超音波検査も随時行っていますので予約は不要です。できれば空腹が理想ですが、食事の直後でなければ大丈夫です。

胃カメラは、原則として朝の診察前あるいは後に行っています。他の診療所からの紹介が多いため、できるだけ予約をお願いします。

大腸ファイバーは、前もって下剤等を飲んでいただく必要がありますので、原則として予約をお願いします。

ただし、どの検査でも大切なことは、**症状のあるときに検査をすること**が一番いいということです。

つまり、狭心症なら胸の痛いときに心電図をとること。胆石ならお腹の痛いときに腹部エコーをすること。胃潰瘍なら痛かったり血を吐いたときに胃カメラをすること。大腸の病気で血便が出たらそのときに大腸ファイバーをすること。

症状が治まってからでは、いくら検査してもよくわからないことがあります。

したがって、おかしいな、検査を受けた方がいいのではというような症状があれば電話でもお気軽にご相談下さい。

### 夏休みについて

少し早いですが、**夏休みはありません。お盆も平常通り**です。  
血液検査・超音波検査 ( 腹部エコー ) ・内視鏡検査 ( 胃カメラ・大腸ファイバー ) 等、すべて平常通り行います。  
お盆休みで検査を受けようかとお考えの方は、早めに予約をお願いします。

### 外来の混雑する曜日・時間帯について

混雑というほどではありませんが、月曜と土曜は比較的患者さんが多いです。時間帯では、午前 9 時から 10 時、午後 6 時から 7 時が比較的込みます。1 か月の中では、月初めと月末が込みます。  
雨の日、風の強い日 ( 特に台風 )、寒い日など天気のわるい日はすいています。  
なお、何時までに診察を済ませて帰りたいというようなご希望のある方は、日時を指定して**診察の予約**を受け付けておりますので、前日までにお申し出下さい。なお、検査等の都合や緊急を要する患者さんのために、予約をしていただいても診察が遅れる場合もありますので、ご了承下さい。

### 八尾市民検診

基本健康診査 ( 40 才以上は無料 ) 問診・診察・血圧測定・尿検査・血液検査・心電図

大腸がん検診 ( 40 才以上は年 1 回 600 円 ; 70 才以上は無料 ) 問診・便潜血反応 ( 2 回 )

### 地域振興券について

当院でも地域振興券をご利用になれます。  
使用可能な期間は、**9月22日 (水) まで**です。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9 ~ 12							×
午後 4 ~ 7			×			×	×

### 菊池内科 ( 内科・消化器科 )

〒581-0003 八尾市本町 7-11-18 八尾メディカルアベニュー 2 F

電話 0729-90-5820 ファックス 0729-90-5830

ホームページ <http://www.kikuchi-clinic.com/>

電子メール [hiroshi@kikuchi-clinic.com](mailto:hiroshi@kikuchi-clinic.com)